

外来で検査可能な 認知症の画像診断

札幌宮の沢脳神経外科病院
院長 松村 茂樹

認知症の原因となる病気を診断するためには、患者さん本人の認知機能の低下（もの忘れ）の程度を調べる診察に加え、脳の萎縮を調べる検査（脳MRI）や脳の血流をみる検査（SPECT）がとても大切になります。いずれの画像診断も、外来でできる検査です。

脳MRIは、脳に認知症の原因となる病気がないかどうかを調べる検査ですが、脳の萎縮の程度も把握できます。脳全体の中での萎縮した脳の割合や、早期アルツハイマー病に特徴的にみられる「海馬」という部分の萎縮の程度も分かり、より診断の精度が向上します。

脳の機能が低下すると血流の低下がみられますが、認知症の原因によって血流の低下する部分が異なることが分かってきました。脳SPECTは、検査を受けた人の画像と、健康な人たちの画像をコンピュータで比較し解析して、血流の低下しているところを色付けして表示します。そのパターンを確認することで認知症の原因の診断に役立ちます。特に早期のアルツハイマー型認知症やレビー小体型認知症の診断に有用であり、また、認知症の前段階とされる「軽度認知障害MCI」も見つけ出せる可能性があります。

認知症は早期発見と早期治療が何よりも重要です。認知症が疑われる症状に気付いたら、早めに受診することをお勧めします。



地下鉄東西線「宮の沢」駅 5番出口より徒歩4分



西区

■診療科目/
脳神経外科・神経内科・
糖尿病内科・リハビリテーション科

■外来診療時間/
月～金曜 9:00～12:00・13:00～17:00 土曜 9:00～12:00

24時間救急対応

脳ドックあり

明日佳グループ
札幌宮の沢脳神経外科病院

札幌市西区西町南20-1-30（旧国道5号沿い）

☎011-664-7111